



平成30年度 東近江市教育研究所 研究発表大会・教育講演会

主催 東近江市教育委員会・東近江市教育研究所
後援 東近江市教育会・退職教職員互助会東近江支部

平成30年12月26日(水)13:30~16:45 会場:八日市文化芸術会館

- 13:10~13:30 ●受付
- 13:30~13:45 ●開会行事 挨拶 東近江市教育長 藤田 善久
- 13:50~14:50 ●研究報告1 学力向上推進事業の取組
●研究報告2 小学校外国語活動における単元の指導計画
および「読むこと」「書くこと」を含めた言語活動の工夫
東近江市教育研究所 研究員 上田 章子 他
- 15:00~16:30 ●教育講演会 『学びに向かう力をどう育むか』
佛教大学 教授 原 清治 氏
- 16:35~16:45 ●閉会行事 謝辞・挨拶
東近江市教育研究所 所長 國領 順子



先生にオススメしたい一冊

『おそい・はやい・ひくい・たかい』 No.100より
「学校でつまずかない人生」 〈ジャパンマシニスト社〉



1998年から刊行を続けてきた、こども・きょういく・がっこうブック「お・は」こと『おそい・はやい・ひくい・たかい』は今年100号を発行しました。社会の動向に合わせたタイムリーな特集は、常に子どもに寄り添い、一人ひとりを支えたいという信念を感じます。本号は創刊号の特集「学校でつまずく人生」への返信として、教員をはじめ、作家や小児科医らが20年を振り返ります。「通知表」や「給食」、「恋愛」などをテーマとしたバックナンバーも図書館で所蔵しています。20年間ぶれることのない雑誌「お・は」をおすすめします。(蒲生図書館 鈴木厚子)



「こどものみらい叢書①②③」 〈世界思想社〉

(『おいしい育児』佐川光晴／著、『お山の幼稚園で育つ』山下太郎／著、
『子どもが教えてくれた世界』片岡佳美／著)

創刊100号を迎えたものもあれば、今年始まったばかりのシリーズもあります。大学の過去問題を収めた「赤本」や学術書で知られる京都の出版社が、創業70年に合わせて「こどものみらい叢書」を創刊しました。本シリーズは子どもを取り巻く世界が大きく変化する中、いま一度「子どもにとっての幸せとは何なのか」を考えてほしいという思いが込められています。“固い”学術書ではなく、作家兼主夫、幼稚園の園長先生、一児の母でもある家族社会学者など、様々な分野の専門家が子どもと暮らす日々を見つめたエッセイ集で、これまで3冊出版されています。どの本からも、きらきらと輝く子どものエネルギーが伝わってきて、子どもに関わる大人の方にぜひ読んでもらいたいシリーズです。

(蒲生図書館 平賀美穂)